

そしてまた明日が来る



## 20歳と2ヶ月

---

今日、母に言われた支払いのお金を下ろそうとATMに行ったら、残高が0だった。ついに底を突いたのだ。永遠にずっとあるものだとは思っていなかったから、焦りもしなかったし泣きそうにもならなかった。むしろ、少し安心した。

家に帰って少しずつ貯めていた500円玉を全部封筒に入れる。支払いはできそう。それから部屋の掃除も兼ねて売れそうなものを全部、袋にまとめる。本やCDを丁寧に入れている途中、自分の行動がおかしく思えてひとりで少し笑った。

私は高校の時から尻に火が付くまで何もしないタイプで、課題やテスト勉強の一夜漬けは日常茶飯事だった。他にもそういう友達はたくさんいたのにその中でも私はずば抜けて要領が悪く、自分は何かの病気なんじゃないかと思ったこともある（このぐらいで病気、なんて言っていたら本当の病気の人に失礼だけれど）。こうしなきゃ、あれやらなきゃ、と思うくせに結局は何もしなかったり、やっても中途半端だったり。どうすればこの性格を変えられるか色々考え始めるけど最後は自己嫌悪にたどり着き、「自分は駄目人間なんだ」という結論が出て考えるのをやめる。これだもの、改善されるわけがない。

去年の夏、約3ヶ月間家にこもっていたときよりは今の状態のほうがずっといい。無気力じゃないしちゃんと話したり出かけたりもする（叔父はあのときの私をうつだと言っている。叔父は私や私の家族をよくうつ病にしたがるけど本当にそうだったのかどうかは分からない）。いくら尻に火を付けたってどうってことなかったあのときに比べたら、今は十分に熱い。何か新しいことを始めるにはもってこいの状態だ。お金と時間はないけれど、その新しいことに対してだって熱心に取り組める。

本やCDは電車代ぐらいには化けてくれるだろうか。尻にやっと付いた火が消えないうちに、自己嫌悪にたどり着く前に、何か始めることができたらいいなあと思う。